

はじめに

本学が自己点検・評価作業に取り組んできた歴史は本報告書173頁以下に詳述されているとおり、1993年の自己点検・評価基本事項検討委員会、自己点検・評価準備委員会の発足に始まります。正式に自己点検・評価委員会が設置された1996年以降は、「授業に対する学生の評価 - 学生アンケートの報告」（1999/2002年）や、大学・短大を別冊とした「学生および教員による授業評価」報告書（2005年）などにみる調査、分析、報告書作成といった様々な実績を経て現在に至ります。

この間、学校教育法の改正により2004年からは自己点検・評価結果の公表と“第三者機関による評価”が義務付けられ、4年制大学、短期大学共に公的認証を得た第三者評価機構が設立されました。本学短期大学部ではそのひとつである「短期大学基準協会」に対して、2007年度の第三者評価を申請することがすでに決定しています。

今回まとめられた「大阪音楽大学短期大学部の現状と課題 自己点検・評価報告書（2002 - 2004年度）」はこうした第三者評価への体制を具体的に視野に入れた最初の報告書であり、その内容は学外公表することを前提としたものです。

本学が社会の求める高い教育水準を維持し、さらに発展させるためには、さまざまな観点から大学自らに対する点検作業がこれからも継続的に求められます。本学の運営に携わるすべての教職員が、こうした点検作業、さらには評価作業を通じて、新たな課題を見出し、音楽文化に貢献する短期大学としての向上に努力を重ねていくことを期待します。

今回の報告書作成に際し、自己点検・評価統括委員会、自己点検・評価部長を中心に点検・分析・編集等の諸作業に尽力いただいた教職員各位に深く感謝いたします。

2006年3月

大阪音楽大学短期大学部
学長 西岡 信雄

目 次

はじめに

第 章 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

第 1 節 建学の精神・教育理念	3
1．本学の創立	3
2．本学の歴史（概要）	4
3．建学の精神・教育理念に基づく事業概要	4
4．現在の音楽科の構成	6
第 2 節 教育目的・教育目標	7
1．各専攻・履修コースの教育目的・教育目標	7
第 3 節 短期大学部専攻科の理念・目的と個性・特色	10
1．大阪音楽大学短期大学部専攻科の設立	10
2．大阪音楽大学短期大学部専攻科の理念・目的	10
3．専攻科の個性と特色	10
4．専攻科の教育目標	11
5．教育目的・目標の全学的共有化とそのための施策	12
6．教育目的・目標の具現化に向けた施策	12
第 4 節 定期的な点検等について	12
1．建学の精神や教育理念の解釈の見直しや教育目的・目標の定期的な点検	12

第 章 教育の内容

第 1 節 教 育 課 程	15
1．教育目的・教育目標	15
2．音楽科の教育課程	15
3．取得可能な免許・資格	35
4．選択科目を学生が自由に選択できることの説明	35
5．教育課程の見直しと改善について	35
第 2 節 教育内容・教育方法	36
1．シラバス	36
2．学生の履修態度、学業への意欲等について	36
第 3 節 教育改善への努力	36
1．授業アンケートの実施概要	36
2．FD活動、SD活動への組織的な取り組み	37
3．教員間の意思の疎通・協力体制	38
特記事項	38

第 章 教育の実施体制

第1節 教員組織	47
1. 専任教員数	47
2. 教員の採用と昇任	47
3. 専任教員の年齢構成	51
4. 専任教員の業務取り組み状況	51
5. 教育助手、副手、補助職員、技術職員の配置	52
第2節 教育環境	52
1. 校地と教育環境としての適切性	52
2. 情報機器及び授業用の機器・備品の設備	55
3. 機器・備品の管理の状況、整備計画	59
4. 校地・校舎の安全性	59
第3節 図書館・学習資源センター	60
1. ザ・カレッジ・オペラハウス	60
2. 音楽ホール型大教室「ミレニアムホール」	62
3. 図書館	65
4. 音楽博物館	68
5. 録音スタジオ	69
6. ジャズ・ポピュラースタジオ	69
特記事項	70

第 章 教育目標の達成度と教育の効果

第1節 単位認定について	75
1. 単位認定の概要	75
2. 学生の授業満足度	82
3. 授業に対する満足度についての受け止め	82
第2節 退学、休学、留年等の状況	83
1. 退学、休学、留年等の状況	83
2. 退学者の退学理由割合、退学理由（最近の傾向）、退学者、休学者（復学者を含む）及び留年者に対する指導（ケア）の現状	85
3. 退学、休学、留年等の現状に対する受け止め	87
第3節 資格取得の取り組み	87
1. 取得可能な資格と取得状況	87
2. 今後導入を検討している免許・資格	88
第4節 学生による卒業後の評価、卒業生に対する評価	89
1. 専門就職（学習した分野に関連する就職）の状況（専門就職数、割合等）、専門就職先からの卒業生に対する評価についての文書や資料	89
2. 学生時代についてのアンケート（卒業後評価）	90

3. 教育の実績や効果を確認するための卒業生との接触、同窓会等との連携及び社会から卒業生に対する評価	90
--	----

第 章 学 生 支 援

第 1 節 入学に関する支援	95
1. 入学志願者に対する本学の案内	95
2. 募集要項、入学者選抜の方針と選抜方法	95
3. 広報及び入試事務についての体制	99
4. 願書受付から合否通知にいたる入学試験の流れ	99
5. 入学手続き者に対する授業・学生生活についての情報提供（入学までの期間）	100
6. 入学者に対する学習、学生生活の為のオリエンテーション	100
第 2 節 学 習 支 援	101
1. 学習・科目選択のためのガイダンス等の概要	101
2. 学習・科目選択のための印刷物	101
3. 基礎学力が不足している学生に対する補習授業等の取組み	101
4. 学習上の悩み、相談に対する取組みと組織体制	102
5. 優秀な学生に対する学習上の配慮や学習支援	102
第 3 節 学生生活支援体制	102
1. 生活支援のための教職員の組織（学生指導、厚生補導等）	102
2. クラブ活動、学生自治会活動等の実施状況と支援体制	103
3. キャンパス・アメニティへの配慮	105
4. 学生寮、通学等に対する支援	106
5. 学生への経済的支援	108
6. 学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制と利用状況	111
7. 学生に対する各種記録の整理、保管	113
第 4 節 進 路 支 援	113
1. 進路支援の組織体制と就職状況（就職率及び就職先）	113
2. 就職情報等の提供	116
3. 就職のための資格取得、就職試験対策	117
4. 進学、留学に対する支援	119
第 5 節 多様な学生に対する特別な支援	119
1. 留学生に対する支援	119
2. 社会人学生に対する支援	120
3. 身体障害をもつ学生に対する支援	120
4. 長期履修者に対する支援	121
特記事項	121

第 章 研 究

第 1 節 教員の研究活動全般について	125
1. 研究活動の状況の公開	125
2. 外部からの研究資金の調達状況	125
3. 共同研究・教育に関わる研究の状況	125
第 2 節 研究活動の活性化のための条件整備	126
1. 教員の研究経費	126
2. 教員の研究成果を発表する機会	127
3. 教員の研究に係る機器、備品、図書等の整備状況	128
4. 教員の教員室、研究室または研修室、実験室等の状況	128
5. 教員の研修日等、研究時間の確保状況	128

第 章 社会的活動

第 1 節 社会的活動への取り組みについて	133
1. 社会活動についての位置付け	133
2. 社会活動の現状と今後の取組み方針	133
3. 本短期大学における社会人の受入れと生涯学習の位置づけ	133
4. 公開講座、生涯学習授業、正規授業の開放等	134
5. 地域社会との交流	136
第 2 節 学生の社会的活動について	136
1. 学生による社会活動（地域貢献、ボランティア等）	136
第 3 節 国際交流・協力への取組み	137
1. 学生の海外教育機関等への派遣（留学＜長期・短期＞を含む）状況	137
2. 教職員の留学、海外派遣、国際会議出席等の状況	138
特記事項	138

第 章 管 理 運 営

第 1 節 法人組織の管理運営体制	141
1. 法人組織の構成と学校法人の決定システム	141
2. 常任理事会	143
3. 監事の業務執行状況	144
4. 評議員会についての寄附行為上の規定及び評議員会の開催状況	144
第 2 節 教授会等の運営体制	145
1. 学長選考規程とリーダーシップ	145
2. 教授会についての学則上の規定と審議の流れ	146
3. 教育・研究上の各種委員会等	151
4. 運営全般における問題と課題	154
第 3 節 事 務 組 織	155

1 . 各事務部門	155
2 . 事務職員の任用（役職者の任免を含む）	156
3 . 事務組織についての規程	156
4 . 決裁処理の概要（公印や重要書類（学籍簿等）の管理、防災の状況、情報システムの安全対策等の現状）	157
5 . 事務職員に対する教員や学生からの評価	157
6 . 事務組織のSD活動（業務の見直しや事務処理の改善等）	158
第4節 人事管理	158
1 . 教職員の人事管理	158
2 . 法人（理事長及び理事会等）と教職員の関係	158
3 . 教員と事務職員の関係	158
4 . 教職員の健康管理、就業環境の改善、就業時間の順守等の現状	159
特記事項	159

第 章 財 務

第1節 財務運営	163
1 . 中・長期の財務計画	163
2 . 事業計画と予算決定の流れ	163
3 . 監事による監査状況と監査内容	163
4 . 財務の公開	164
5 . 寄附行為に基づく資金等の保有と運用	164
6 . 寄付金・学校債の募集	164
第2節 財務体質の健全性と教育研究経費	165
1 . 資金収支計算書・消費収支計算書の概要	165
2 . 貸借対照表	166
3 . 外部資金導入方策等の改善	166
第3節 施設設備の管理	167
1 . 施設設備等の管理及び財務諸規程	167
2 . 危機管理対策	167
3 . 大阪音楽大学短期大学部施設の現状	168

第 章 改革・改善

第1節 本学の自己点検・評価活動	173
1 . 実施体制	173
2 . 組織・規程の整備状況	174
3 . 自己点検・評価報告書の発行状況	174
第2節 自己点検・評価活動への教職員の関与と活用	175
第3節 相互評価や外部評価について	175

第4節 第三者評価（認証評価）について	176
1. 第三者評価を実施するための学内組織の概要	176
2. 第三者評価を迎えるにあたっての本学の決意	176